

施設紹介（後期研修プログラム紹介）

自治医科大学地域医療後期研修プログラム

三瀬 順一

自治医科大学地域医療学センター地域医療支援部門

I. 背景

自治医科大学は1972（平成47）年，都道府県が共同で設立した私立大学です。これまで約3000名の卒業生が地域医療に従事してきました。1981（昭和56年）年には，卒業生の支援，地域での研究や予防活動の推進，総合医としての生涯研修のため，地域医療学講座（現・地域医療学センター地域医療学部門）が活動を始め，1985年からは他大学卒業の研修医も受け入れるようになりました。

1991（平成3）年，地域医療学に一挙8名の応募があったのを機に，新たに地域医療学レジデント研修プログラムを策定しました。その内容は，現研修制度を先取りしたものでしたが，異なるのは，第一線医療機関での研修を含むシニアレジデント（後期）研修プログラム（計5年）も同時に構想されたことです。これは診療所・地域の中小病院・大規模病院の総合診療部門のいずれにおいても十分活動できる医師を養成することを目指したものです。現在までに70名がこの研修を終え，地域医療の分野で活躍しています。

そして，2006（平成18）年，新臨床研修修了者が後期研修に入るのを機に，これまでのプログラムを発展させ，附属病院として運営することになりました。ちょうどその頃，文部科学省が募集した「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」（医療人GP。大学改革補助金による）にも採用されました。

当プログラムは，地域医療学レジデントプログラムの豊富な経験と全国的ネットワークを基に，地域社会で真に求められる医師を養成するものです。

II. 研修目標

目標は，「地域住民と患者のニーズに的確に答え，合理的で温かな，信頼される保健医療サービスを自ら提供できるようになり，介護や福祉・産業振興・文化まで含めた幅広い分野のひとびとと協働できる医師」の養成です。具体的には……

- ・診療所や中規模病院で外来診療を自立して行うことができる。〈段階的に自立する指導法を取り入れて無理なく外来診療を身につけられます。〉
- ・中規模病院での当直が自立してできる。
- ・上部消化管内視鏡検査（スクリーニング）が自力で行える。〈安全で的確に検査ができるようになるための基礎固めまでを目標としています。〉
- ・腹部超音波検査が自力で行える。〈気軽に行えるレベルを目標としています。〉
- ・入院患者の管理を自立して行うことができる。〈幅広く多数経験できます。〉
- ・根拠に基づいた診療が実践できる。〈自治医大は日本で最初にEBMを教育した，実践経験豊富な施設です。〉
- ・地域や家庭を視野に入れた診療ができる。
- ・職員と良好な人間関係を維持することができます。

施設紹介（後期研修プログラム紹介）

- る。
- ・地域包括ケアの概念を述べるができる。
〈優れた実践に数多く触れる機会があります。〉
- ・在宅医療の導入と展開が自力でできる。
- ・多様な専門職の特性と能力を理解し、協力してケアを行うことができる。〈プロフェッショナル同士が、顔の見える関係にある地域医療機関の長所を十分生かせます。〉
- ・保健・介護の専門職に対し、的確な情報提供を行うことができる。
- ・介護保険の利用について概要を述べるができる。
- ・他の医療機関との間での確かな情報交換ができる。
- ・地域住民と良好な関係を築き、地域包括ケアを展開することができる。
- ・医療機関の経営について意見をもち、提言することができる。
- ・医療安全活動と医療の質の向上に寄与する活動において中心的な役割を担うことができる。
- ・院内感染と感染症治療，予防についての確かな判断と行動ができる。〈研修医にも安全・質の向上・感染対策については責任ある地位を与えられます。〉
- ・地域で求められる新たなニーズに応じて自ら積極的に学習に取り組むことができる。
- ・研修医・他の医療専門職に対し，教育活動を企画し，実行できる。
- ・地域のニーズに沿った研究テーマを見出し，日常的に研究活動を行うことができる。
- ・地域医療，家庭医療またはプライマリ・ケアの学会あるいは学術雑誌上で定期的に研究成果を発表することができる。〈地域からの発信を重要視しており，大学が最大限支援します。〉
- ・なりたい自分を想定でき，それに向かって着実に行動することができる。
- ・喜びを持って研修を行えるよう，自らを変革し，環境に働きかけることができる。〈地域や患者

のための自己犠牲でなく，しくみや環境の変革によって持続可能な地域医療を構築するよう，考えましょう。〉

Ⅲ. プログラムの概要と特色

1. コース

臨床研修を修了した医師向け「地域医療後期研修コース」（3年），経験5年以上の医師向け「地域医療生涯研修コース」（2年）とも医局に所属せず，自治医科大学附属病院長・研修管理委員会直属です。

2. 後期研修コースのローテーション

附属病院総合診療部（病棟・外来）6か月と選択2科で6か月，地域研修医療機関2年（1～2か所）で構成し，最大限希望を考慮して編成します。状況によりローテーションの順序は様々です。

3年目			4年目	5年目
自治医科大学附属病院*			地域医療機関 病院・診療所	地域医療機関 病院・診療所
総合診療部	選択 1	選択 2		

3. 地域医療共通必修カリキュラム

附属病院研修中には，心肺蘇生法・外傷初期診療・感染症対策・感染症治療・医療安全活動・TQC・危機管理・予防医学・疫学・臨床疫学とEBMなどを身に付ける機会を設けています。

4. 現地体験（短期地域医療）カリキュラム

自治医科大学附属病院研修中に地域研修医療機関で短期間実際に働いてみて医療機関と研修医が互いに評価します。

5. 地域研修医療機関とのマッチング

現地体験での相互評価をもとにマッチングで後半の研修医療機関を決定します。

6. 地域研修医療機関の指導医のもとで研修

いずれも地域医療の先進的医療機関であり，優れた指導医のもと，プログラムに基づいた研修が保障されています。給与水準は大学病院よりかなり高め（1.5～2.5倍）です。

施設紹介（後期研修プログラム紹介）

7. プログラムの発展と充実

研修医・指導医が一堂に会して「研修報告会」を開催し、率直に研修環境や研修プログラムについて議論します。

8. 修了後の進路

就職、大学院への進学、自治医大教員、専門医研修など自由です。

IV. 研修に関する資源

自治医科大学附属病院

大宮医療センター

山形県 酒田市立八幡病院 鳥海南麓プログラム
医師研修06年版

<http://www.city.sakata.yamagata.jp/Contents/ePage.asp?CONTENTNO=1796>

東京都東久留米市 東久留米プログラム

（石橋クリニックと2病院、北米家庭医短期留学とで構成）

千葉県 県立佐原病院

<http://www.pref.chiba.jp/byouin/sawara/>

香川県 綾歌郡綾南町 国保陶病院

<http://www.sue-hp.jp/>

など、選りすぐりの30か所。詳しくは毎週更新している<http://www.jichi.ac.jp/chiikik/>をご覧ください。

V. 修了認定

当プログラム研修管理委員会で多角的評価により認定します。

VI. 認定医・専門医などの取得見込み

内科認定医、プライマリ・ケア学会認定医を最低限の目標とし、現在日本家庭医療学会で策定中の家庭医療学プログラムにも準拠した研修内容を構築すべく計画中です。当プログラム修了者は、修了後間もなく内科専門医、プライマリ・ケア専門医・指導医を取得できる実力を持つことが予定されています。

VII. 専任指導教員からのメッセージ

当プログラムには、専任指導教員と事務局職員各1名が配置され、研修全般をコーディネートしています。特に地域研修医療機関には、実際に足を運び、病院長や研修責任者、事務長と面談して研修医を受け入れる体制や熱意、地域の医療環境などについて率直に話を聞いています。また、実際にその町に住む場合の便利さや自然環境・経済社会情勢もつぶさに観察し、研修医が安心して生活できるよう配慮しています。

実際に訪問して職員と話してみると、小規模な医療機関でも職員の向上心が旺盛で、ハイレベルな施設もたくさんあることがわかりました。また、若い医師が短期間であれ滞在することにより、職場が明るくなることを期待する声も聞かれました。

近所の方や救急隊員などに評判を聞くことも多いのですが、どこも地域住民の信頼が厚いことがわかり安心しました。私は、もちろん、地域医療、家庭医療の分野に進む若手医師が増えることを切望してはいるのですが、将来の進路に関わらず、若い時にこういった環境で研修できることは視野が広がり、とても有意義なことだと思います。

幅広い知識と着実な技能、誠実で人間味あふれる医師を養成しようとした結果、このようなプログラムができました。全国で臨床能力の高い医師を求めています。本当に期待されている医師像がここにあります。ぜひご参加ください。

連絡先：三瀬順一

自治医科大学地域医療学センター

地域医療支援部門 地域医療後期研修プログラム
専任指導教員

329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

電話 0285-58-7394 FAX 0285-44-0628

E-mail:chiikikenshuu@jichi.ac.jp

URL:<http://www.jichi.ac.jp/chiikik/>

施設紹介（後期研修プログラム紹介）